

令和4年度羽曳野市事務事業評価シート(令和3年度実施事業)

				事務事業コード		411-01-01		
事務事業名		幼稚園施設改修事業		事務の種類		自治事務(義務的なもの)		
				連絡先		内線1230		
担当部署名		こども政策課		予算科目	会計	1	一般会計	
総合基本計画	施策目標		4		未来に羽ばたく 子ども・若者を育むまち	款	10	教育費
	施策		1		子育て支援	項	4	幼稚園費
	施策の方向		1		すべての子どもの育ちへの支援	目	1	幼稚園費
事業の概要	対象 (誰を・何を)		市立幼稚園12園					
	目的 (どうしたいか)		耐震改修及び施設修繕を行い、安全な保育環境を確保する。					
	手段 (事業内容)		市立幼稚園12園の14棟のうち、耐震基準を満たしていない3棟の改修及び老朽化している園舎の修繕を行う。					

予算・決算額		(単位:千円)			≪主な内訳(令和3年度決算)≫	
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	【事業費】 原材料費47千円 修繕費2,244千円 【特定財源】	
当初予算額	事業費	2,226	2,695	2,022		
決算額	事業費	1,753	2,291	—		
	特定財源等	0	0	—		

活動指標	(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)		
指標名	市立幼稚園12園修繕相談箇所数	単位	箇所
指標の説明	各園修繕が必要な箇所について相談があった。		
	令和2年度	令和3年度	令和4年度
目標(見込)	50	50	90
実績	45	93	－

成果指標	(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		
指標名	市立幼稚園12園修繕対応箇所数	単位	箇所
指標の説明	予算の範囲内で、安全上直ちに必要箇所を修繕した。		
	令和2年度	令和3年度	令和4年度
目標(見込)	50	50	80
実績	42	82	－

個別評価			
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	市が実施すべき義務的事業である。	A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	一定の成果は上がっているが向上余地がある。	B
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	大きく貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	適正な受益者負担である。	

総合評価	現状維持	今後の改善内容
(担当部局による総合評価の理由や課題) 幼稚園の老朽化に伴い、特に耐震基準を満たしていない園舎の耐震改修については喫緊の課題となっている。施設修繕についても、安全上直ちに対応しなければならない箇所にとどまっていることから、今後の幼稚園の在り方について、方向性を検討する必要がある。		(令和4年度以後の事業実施への改善内容)

令和4年度羽曳野市事務事業評価シート(令和3年度実施事業)

				事務事業コード		411-01-02	
事務事業名		幼稚園運営事務事業		事務の種類		自治事務(義務的なもの)	
				連絡先		内線1230	
担当部署名		こども政策課		予算科目	会計	1	一般会計
総合基本計画	施策目標	4	未来に羽ばたく 子ども・若者を育むまち		款	10	教育費
	施策	1	子育て支援		項	4	幼稚園費
	施策の方向	1	すべての子どもの育ちへの支援		目	1	幼稚園費
事業の概要	対象 (誰を・何を)	利用を希望する幼稚園児や保護者					
	目的 (どうしたいか)	安全で快適な幼稚園生活を提供し、楽しいことがいっぱいの幼児期を過ごすことができる環境づくりを推進する。					
	手段 (事業内容)	カリキュラムに応じて幼稚園備品や消耗品の購入の他、施設営繕及び各種施設の保守点検や施設維持管理を継続して実施する。					

予算・決算額		(単位:千円)			※主な内訳(令和3年度決算)※
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	【事業費】 幼稚園施設管理:7,771千円 幼稚園運営[総務]:6,466千円 OA経費:181千円 幼稚園運営[教育施策]:2,772千円 幼稚園保健衛生:7,375千円 幼稚園施設管理[施設営繕]:2,248千円 その他:1,005千円 【特定財源】
当初予算額	事業費	30,145	32,222	75,064	
決算額	事業費	59,441	27,818	—	
	特定財源等	7,038	0	—	
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	

活動指標	(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)		
指標名	市立幼稚園数	単位	園
指標の説明	市内幼稚園を適正に管理する		
	令和2年度	令和3年度	令和4年度
目標(見込)	12	12	9
実績	12	12	－

成果指標	(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		
指標名	市立幼稚園数	単位	園
指標の説明	適正に管理できた園の数		
	令和2年度	令和3年度	令和4年度
目標(見込)	12	12	9
実績	12	12	－

※事業の参考数値等※
【令和4年度予算額】 幼稚園施設管理:7,924千円 幼稚園運営[総務]:7,097千円 OA経費:239千円 幼稚園運営[教育施策]:4,325千円 幼稚園保健衛生:5,750千円 幼稚園施設管理[施設営繕]:5,011千円 幼稚園施設改修:43,629千円 その他:1,089千円

個別評価			
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	市が実施すべき義務的事业である。	A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。	A
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	適正な受益者負担である。	

総合評価	現状維持
(担当部局による総合評価の理由や課題) 幼稚園の利用希望者が減少傾向にあり、児童数の少ない園をどのように運用していくかが課題となっている。 施設の老朽化と合わせて今後の幼稚園の在り方についてどのような方向性になるのか、総合的な判断を示す必要がある。	

今後の改善内容
(令和4年度以後の事業実施への改善内容)

令和4年度羽曳野市事務事業評価シート(令和3年度実施事業)

				事務事業コード		411-02-01	
事務事業名		公立保育所運営事務事業		事務の種類		自治事務(義務的なもの)	
				連絡先		内線1230	
担当部署名		こども政策課		予算科目	会計	1	一般会計
総合基本計画	施策目標	4	未来に羽ばたく 子ども・若者を育むまち		款	3	民生費
	施策	1	子育て支援		項	2	児童福祉費
	施策の方向	1	すべての子どもの育ちへの支援		目	6	保育所費
事業の概要	対象 (誰を・何を)	保護者の労働や疾病等に伴い保育を必要とする児童					
	目的 (どうしたいか)	安全で快適な保育を提供し、楽しいことがいっぱいの幼児期を過ごすことができる環境づくりを推進する。					
	手段 (事業内容)	公立保育所5園を適正に運営し、保育を実施する。					

予算・決算額		(単位:千円)			《主な内訳(令和3年度決算)》	
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	【事業費】 保育施設管理:30,828千円 保育所運営:62,309千円 その他:4,624千円 【特定財源】	
当初予算額	事業費	109,518	111,078	78,659		
決算額	事業費	93,755	97,761	—		
	特定財源等	0	0	—		

活動指標	(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)		
指標名	公立保育所等への入所申込者数	単位	人
指標の説明	公立保育所を第1希望とする人数		
	令和2年度	令和3年度	令和4年度
目標(見込)	130	120	60
実績	103	95	－

成果指標	(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		
指標名	公立保育園数	単位	園
指標の説明	市内5園を適正に運営する。		
	令和2年度	令和3年度	令和4年度
目標(見込)	5	5	4
実績	5	5	－

個別評価			
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	市が実施すべき義務的事业である。	A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。	A
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	大きく貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	適正な受益者負担である。	

総合評価	現状維持	今後の改善内容
(担当部局による総合評価の理由や課題) 施設の耐震性・老朽化や、待機児童など、解決すべき課題に対して、引き続き検討を続けていく。		(令和4年度以後の事業実施への改善内容)

令和4年度羽曳野市事務事業評価シート(令和3年度実施事業)

				事務事業コード		411-02-02		
事務事業名		公立保育所施設整備事業		事務の種類		自治事務(義務的なもの)		
				連絡先		内線1230		
担当部署名		こども政策課		予算科目	会計	1	一般会計	
総合基本計画	施策目標		4		未来に羽ばたく 子ども・若者を育むまち	款	3	民生費
	施策		1		子育て支援	項	2	児童福祉費
	施策の方向		1		すべての子どもの育ちへの支援	目	6	保育所費
事業の概要	対象 (誰を・何を)		市内公立保育園					
	目的 (どうしたいか)		安全な保育環境を確保する。					
	手段 (事業内容)		老朽化している園舎の修繕や、待機児童の解消のための施設改修等を行う。					

予算・決算額		(単位:千円)			《主な内訳(令和3年度決算)》	
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	【事業費】 修繕費:7,292千円 原材料費:9千円 【特定財源】	
当初予算額	事業費	4,600	5,600	6,992		
決算額	事業費	5,342	7,301	—		
	特定財源等	0	0	—		

活動指標	(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)		
指標名	市立保育園5園修繕相談箇所数	単位	箇所
指標の説明	各園修繕が必要な箇所について相談があった。		
	令和2年度	令和3年度	令和4年度
目標(見込)	130	120	120
実績	115	112	－

成果指標	(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		
指標名	市立保育園5園修繕対応箇所数	単位	箇所
指標の説明	予算の範囲内において、最低限必要な箇所を修繕した。		
	令和2年度	令和3年度	令和4年度
目標(見込)	130	120	120
実績	105	121	－

《事業の参考数値等》
【令和4年度予算額】 修繕費:6,912千円 原材料費:80千円

個別評価			
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	市が実施すべき義務的事业である。	A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。	A
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	大きく貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	適正な受益者負担である。	

総合評価	現状維持
(担当部局による総合評価の理由や課題)	
市立保育園5園のうち、1園が耐震基準を満たしていない状況である。他園についても園舎が老朽化しているため年々修繕箇所が増えているが、確保できた予算を最大限に活用し、施設の維持に努めている。将来的に、大規模な修繕または建て替えが必要となると思われるが、公共施設全体の更新についての計画に基づき検討していく。	

今後の改善内容
(令和4年度以後の事業実施への改善内容)

令和4年度羽曳野市事務事業評価シート(令和3年度実施事業)

				事務事業コード		411-03-01		
事務事業名		幼保一元化推進事業		事務の種類		自治事務(任意のもの)		
				連絡先		内線1230		
担当部署名		こども政策課		予算科目	会計	1	一般会計	
総合基本計画	施策目標		4		未来に羽ばたく 子ども・若者を育むまち	款	3	民生費
	施策		1		子育て支援	項	2	児童福祉費
	施策の方向		1		すべての子どもの育ちへの支援	目	10	こども園費
事業の概要	対象 (誰を・何を)		就学前児童					
	目的 (どうしたいか)		多様化する子育て支援ニーズに対応するため、就学前児童の教育・保育を一体的・総合的に推進するため、幼稚園・保育所・認定こども園が連携してお互いの情報・識見の共有と相互理解を深める。					
	手段 (事業内容)		公立の幼保連携型認定こども園において、今後共通としていくカリキュラムの作成を通して幼稚園教諭・保育士の交流を図り、研修機会を充実させ、職員の質の向上に努める。					

予算・決算額		(単位:千円)			※主な内訳(令和3年度決算)※
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	【事業費】 幼稚園教諭免許・保育士資格取得講習等 0円 幼保共通カリキュラム作成委員研修会講師謝礼 0円 【特定財源】
当初予算額	事業費	607	631	607	
決算額	事業費	0	0	—	
	特定財源等	0	0	—	

活動指標		(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)		
指標名	職員研修の回数	単位	回	
指標の説明	幼保共通カリキュラム作成委員研修の実施回数			
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
目標(見込)		1	1	0
実績		1	0	—

成果指標		(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		
指標名	職員研修の回数	単位	回	
指標の説明	幼保共通カリキュラム作成委員研修の実施回数			
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
目標(見込)		1	1	0
実績		1	0	—

個別評価			
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	市が実施すべき義務的事業である。	A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	一定の成果は上がっているが向上余地がある。	B
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	適正な受益者負担である。	

総合評価	現状維持	今後の改善内容
(担当部局による総合評価の理由や課題) 幼稚園教諭及び保育士等の交流を図ることで、互いの教育観・保育観の違いをすり合わせるとともに、就学前の子どもにとって最善の過ごし方について検討を重ねていく。		(令和4年度以後の事業実施への改善内容)

令和4年度羽曳野市事務事業評価シート(令和3年度実施事業)

				事務事業コード		411-03-05		
事務事業名		公立認定こども園運営事務事業		事務の種類		自治事務(任意のもの)		
				連絡先		内線5570		
担当部署名		こども政策課		予算科目	会計	1	一般会計	
総合基本計画	施策目標		4		未来に羽ばたく 子ども・若者を育むまち	款	3	民生費
	施策		1		子育て支援	項	2	児童福祉費
	施策の方向		1		すべての子どもの育ちへの支援	目	10	こども園費
事業の概要	対象 (誰を・何を)		3歳から5歳までの子どもとその保護者					
	目的 (どうしたいか)		就学前の子どもたちの成長発達に応じた教育・保育を一体的に行い、心と体、意欲や規範意識などを培い、たくましく生きる力の基礎を育成する。					
	手段 (事業内容)		1号認定児(幼稚園)と2号認定児(保育園)が共に学ぶ環境の中で、認定こども園教育・保育要領に沿った総合的な指導を行う。					

予算・決算額		(単位:千円)			≪主な内訳(令和3年度決算)≫	
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	【事業費】 ・調理業務委託料:4,983千円 ・賄材料費:2,239千円 【特定財源】 ・日本スポーツ振興センター負担金:41千円	
当初予算額	事業費	14,054	14,404	119,058		
	事業費	10,438	10,862	—		
決算額	特定財源等	71	41	—		

活動指標	(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)		
指標名	公立認定こども園の職員配置人数	単位	人
指標の説明	法令で定める基準にそれぞれ配置しており、教育・保育サービスを適正に提供する。		
	令和2年度	令和3年度	令和4年度
目標(見込)	12	11	37
実績	15	11	－

成果指標	(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		
指標名	公立認定こども園への入園申込者数	単位	人
指標の説明	公立認定こども園を第1希望とする人数		
	令和2年度	令和3年度	令和4年度
目標(見込)	50	83	120
実績	53	111	－

個別評価			
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	市が実施すべき義務的事業である。	A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。	A
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	適正な受益者負担である。	

総合評価	現状維持	今後の改善内容
(担当部局による総合評価の理由や課題) 今後も引き続き、より良い教育・保育サービスを適正に提供していく。		(令和4年度以後の事業実施への改善内容)

令和4年度羽曳野市事務事業評価シート(令和3年度実施事業)

					事務事業コード		411-03-06	
事務事業名		公立認定こども園管理事務事業			事務の種類		自治事務(任意のもの)	
					連絡先		内線5570	
担当部署名		こども政策課			予算科目	会計	1	一般会計
総合基本計画	施策目標	4	未来に羽ばたく 子ども・若者を育むまち			款	3	民生費
	施策	1	子育て支援			項	2	児童福祉費
	施策の方向	1	すべての子どもの育ちへの支援			目	10	こども園費
事業の概要	対象 (誰を・何を)	公立認定こども園(こども未来館たかわし)						
	目的 (どうしたいか)	多様な子育てニーズに対応する、園の円滑な運営に資するため。						
	手段 (事業内容)	施設の維持に必要な様々な日常管理を実施する。						

予算・決算額		(単位:千円)			《主な内訳(令和3年度決算)》	
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	【事業費】 ガス料金:1,322千円 電気料金:1,122千円 【特定財源】	
当初予算額	事業費	4,064	3,937	36,980		
決算額	事業費	3,600	4,031	—		
	特定財源等	0	0	—		

活動指標	(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)		
指標名	市立こども園数	単位	園
指標の説明	市立こども園を適正に管理する。		
	令和2年度	令和3年度	令和4年度
目標(見込)	1	1	2
実績	1	1	－

成果指標	(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		
指標名	市立こども園数	単位	園
指標の説明	適正に管理できた園の数		
	令和2年度	令和3年度	令和4年度
目標(見込)	1	1	2
実績	1	1	－

個別評価			
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	市が実施すべき義務的事業である。	A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。	A
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	大きく貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	適正な受益者負担である。	

総合評価	現状維持	今後の改善内容
(担当部局による総合評価の理由や課題) 認定こども園の円滑な運営は必要不可欠な業務である。 利用者が安全に利用できるように修繕等日常のメンテナンスを必要に応じ実施し、適正な維持管理に努める。 今後も備品や消耗品等の購入に関しては、使用目的や優先順位など計画的に算出していくよう努める。		(令和4年度以後の事業実施への改善内容)

令和4年度羽曳野市事務事業評価シート(令和3年度実施事業)

				事務事業コード		411-03-09		
事務事業名		はびきのE-Kids!事業		事務の種類		自治事務(任意のもの)		
				連絡先		内線1230		
担当部署名		こども政策課		予算科目	会計	1	一般会計	
総合基本計画	施策目標		4		未来に羽ばたく 子ども・若者を育むまち	款	10	教育費
	施策		1		子育て支援	項	4	幼稚園費
	施策の方向		1		すべての子どもの育ちへの支援	目	1	幼稚園費
事業の概要	対象 (誰を・何を)		市立幼稚園および市立こども園に在園する4歳児及び5歳児					
	目的 (どうしたいか)		幼児期において、英語を楽しみながら体験することで、自然に無理なく英語を学びながら、ネイティブな発音や外国文化に触れられる機会を提供し、英語力やグローバルな視野の基礎づくりに寄与する。					
	手段 (事業内容)		園の課内授業として、外国人講師による英会話の体験教室を実施する。					

予算・決算額		(単位:千円)			≪主な内訳(令和3年度決算)≫	
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	【事業費】 英会話教室運営支援業務委託料 583千円 【特定財源】	
当初予算額	事業費	814	1,388	1,665		
決算額	事業費	583	932	—		
	特定財源等	0	0	—		

活動指標		(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)		
指標名	開催コマ数	単位	コマ	
指標の説明	各園にて実施した教室のコマ数			
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
目標(見込)		123	129	140
実績		96	83	—

成果指標		(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		
指標名	参加園児数(のべ人数)	単位	人	
指標の説明	外国人との交流を通じて英会話を体験した回数(人数)			
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
目標(見込)		2,200	2,000	2,200
実績		1,614	1,573	—

個別評価			
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	妥当である。	
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響がある。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。	
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担を求める性質のものではない。	

総合評価	現状維持	今後の改善内容
(担当部局による総合評価の理由や課題) 市内認定こども園および幼稚園において、外国人講師と歌やゲームを通じて英語を学ぶ機会を提供することで、園児が楽しみながら、自然な英語を習得することを可能としている。園児や保護者からは好評を得ており、一定のニーズには応えられている。		(令和4年度以後の事業実施への改善内容)

令和4年度羽曳野市事務事業評価シート(令和3年度実施事業)

				事務事業コード		411-05-01	
事務事業名		ダルビッシュ有子ども福祉基金管理運用事務事業		事務の種類		自治事務(任意のもの)	
				連絡先		内線1220	
担当部署名		こども政策課		予算科目	会計	1	一般会計
総合基本計画	施策目標	4	未来に羽ばたく 子ども・若者を育むまち		款	3	民生費
	施策	1	子育て支援		項	2	児童福祉費
	施策の方向	1	すべての子どもの育ちへの支援		目	1	児童福祉総務費
事業の概要	対象 (誰を・何を)	子ども					
	目的 (どうしたいか)	「ダルビッシュ有こども福祉基金」を活用して、子どもたちの心身の健やかな成長に寄与する。					
	手段 (事業内容)	①ダルビッシュ有選手からの寄附金(公式戦で1勝することに10万円寄附など)を基金に積立て、子どもの福祉に役立つ事業へ活用【こんにちは赤ちゃん事業として子育て安心ファイルの配布、中央図書館にダルビッシュ有文庫を開設し、スポーツ関連の書籍を配架、市内児童擁護福祉施設の子どもたちをぶどう狩りに招待など】 ②広く一般の方からいただいたふるさと応援寄附金を基金に積立て、子どもの福祉に役立つ事業へ活用【ファミリーサポート事業、地域子育て支援拠点事業、パンダ・きりん教室開催事業など】					

予算・決算額		(単位:千円)			※主な内訳(令和3年度決算)※
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	【事業費】 ・ダルビッシュ有文庫追加購入 70千円 ・児童擁護施設退所児童進学応援奨学金事業 2,400千円 ・ファミリーサポート事業 709千円 ・地域子育て支援拠点事業委託料 3,455千円 ・パンダ・きりん教室開催事業 4,696千円 【特定財源】 基金繰入金 11,330千円
当初予算額	事業費	2,400	2,546	2,469	
決算額	事業費	6,213	11,330	—	
	特定財源等	6,213	11,330	—	

活動指標	(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)		
指標名	ダルビッシュ有文庫貸出数	単位	冊
指標の説明	中央図書館内特設ブースにあるダルビッシュ有文庫の年間貸出数		
	令和2年度	令和3年度	令和4年度
目標(見込)	1,500	1,500	1,500
実績	615	935	－

成果指標	(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		
指標名	年度末基金残高	単位	千円
指標の説明	年度末基金残高(5月末現在)		
	令和2年度	令和3年度	令和4年度
目標(見込)	8,000	10,000	15,000
実績	12,411	21,908	－

《事業の参考数値等》	
【基金活用額】	R2 6,213千円 R3 11,330千円
【基金積立】	R2 10,661千円 (内訳) ダルビッシュ有選手寄附金 1,800 ふるさと納税 8,860 利子 1 R3 20,826千円 (内訳) ダルビッシュ有選手寄附金 1,250 ふるさと納税 19,575 利子 1

個別評価			
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	妥当である。	
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいのか。	影響がある。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。	
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担を求める性質のものではない。	

総合評価	現状維持	今後の改善内容
(担当部局による総合評価の理由や課題) ダルビッシュ有こども福祉基金を有効に活用し、すべての子どもたちの心身の健やかな成長に寄与する事業を実施している。		(令和4年度以後の事業実施への改善内容)

令和4年度羽曳野市事務事業評価シート(令和3年度実施事業)

				事務事業コード		411-05-02		
事務事業名		こども夢プラン進行管理事務事業		事務の種類		自治事務(義務的なもの)		
				連絡先		内線1234		
担当部署名		こども政策課		予算科目	会計	1	一般会計	
総合基本計画	施策目標		4		未来に羽ばたく 子ども・若者を育むまち	款	3	民生費
	施策		1		子育て支援	項	2	児童福祉費
	施策の方向		1		すべての子どもの育ちへの支援	目	1	児童福祉総務費
事業の概要	対象 (誰を・何を)		市民					
	目的 (どうしたいか)		羽曳野市子ども・子育て支援事業計画、羽曳野市次世代育成支援行動計画、羽曳野市母子保健計画(はびきのこども夢プラン)の着実な推進。					
	手段 (事業内容)		本計画を実行性のあるものとして着実に展開していくため、年度ごとに関係各課の施策や事業の実施状況を把握するとともに、庁内連携強化に努める。また、羽曳野市こども夢プラン推進委員会に施策や事業の進捗状況を報告したうえで、市のウェブサイト等を通じて市民に公表する。					

予算・決算額		(単位:千円)			※主な内訳(令和3年度決算)※
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	【事業費】 こども夢プラン推進委員会委員報酬 【特定財源】
当初予算額	事業費	294	295	435	
決算額	事業費	131	131	—	
	特定財源等	0	0	—	

活動指標	(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)		
指標名	こども夢プラン推進委員会開催回数	単位	回
指標の説明	こども夢プラン推進委員会開催の回数		
	令和2年度	令和3年度	令和4年度
目標(見込)	2	1	1
実績	1	1	－

成果指標	(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		
指標名	国が定める特定13事業達成度	単位	事業
指標の説明	国が定める特定13事業の達成度		
	令和2年度	令和3年度	令和4年度
目標(見込)	12	12	12
実績	12	12	－

個別評価			
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	市が実施すべき義務的事業である。	A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。	A
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	大きく貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	適正な受益者負担である。	

総合評価	現状維持
(担当部局による総合評価の理由や課題) 子ども・子育て支援事業計画並びに次世代育成支援行動計画で定めた「教育・保育及び子育て支援事業」の量の見込みや確保方策をはじめ、各施策や事業等について、毎年進捗管理や評価、課題整理を行い、本計画を実行性のあるものとして着実に展開していく。	

今後の改善内容
(令和4年度以後の事業実施への改善内容) 目標の達成状況や進捗状況を確認し、事業の見直しを行うとともに、令和7年度からの次期計画に向けて、調査・策定に取り組む予定。

令和4年度羽曳野市事務事業評価シート(令和3年度実施事業)

				事務事業コード		412-03-04	
事務事業名		赤ちゃんの駅設置事業		事務の種類		自治事務(任意のもの)	
				連絡先		内線1230	
担当部署名		こども政策課		予算科目	会計	1	一般会計
総合基本計画	施策目標	4	未来に羽ばたく 子ども・若者を育むまち		款	3	民生費
	施策	1	子育て支援		項	2	児童福祉費
	施策の方向	2	子育て家庭への支援		目	8	子育て支援費
事業の概要	対象 (誰を・何を)	外出中の乳幼児及びその保護者					
	目的 (どうしたいか)	おむつ替え又は授乳のできる施設を登録し、広く公表することにより、子育て中の親子が安心して外出できる環境の整備を図り、地域社会全体で子育てを支えるやさしいまちづくりを推進することを目的としている。					
	手段 (事業内容)	①赤ちゃんの駅事業 基準を満たす施設を赤ちゃんの駅として登録し、無料で場所の提供をしてもらう事業。②移動式赤ちゃんの駅貸出事業 市内イベントにテント、おむつ交換台等を貸し出す事業。					

予算・決算額		(単位:千円)			≪主な内訳(令和3年度決算)≫	
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	【事業費】 【特定財源】	
当初予算額	事業費	0	0	0		
決算額	事業費	0	0	-		
	特定 財源等	0	0	-		

活動指標	(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)		
指標名	赤ちゃんの駅登録施設数	単位	箇所
指標の説明	赤ちゃんの駅登録施設数		
	令和2年度	令和3年度	令和4年度
目標(見込)	30	30	30
実績	28	28	－

成果指標	(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		
指標名	赤ちゃんの駅登録施設数	単位	箇所
指標の説明	赤ちゃんの駅登録施設数		
	令和2年度	令和3年度	令和4年度
目標(見込)	30	30	30
実績	28	28	—

個別評価			
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	妥当である。	A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいのか。	影響がある。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	一定の成果は上がっているが向上余地がある。	B
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担を求める性質のものではない。	

総合評価	現状維持
(担当部局による総合評価の理由や課題) 子育て世代が気軽に安心して地域のイベントに参加や出かけるためには必要な環境である。	
今後の改善内容	(令和4年度以後の事業実施への改善内容) 今後も事業周知を行い、事業者の理解と協力を得ながら更なる登録施設の普及を図る。

令和4年度羽曳野市事務事業評価シート(令和3年度実施事業)

				事務事業コード		412-04-01		
事務事業名		はびきの子育てネット運用事務事業		事務の種類		自治事務(任意のもの)		
				連絡先		内線1230		
担当部署名		こども政策課		予算科目	会計	1	一般会計	
総合基本計画	施策目標		4		未来に羽ばたく 子ども・若者を育むまち	款	3	民生費
	施策		1		子育て支援	項	2	児童福祉費
	施策の方向		2		子育て家庭への支援	目	8	子育て支援費
事業の概要	対象 (誰を・何を)		子育て中の保護者					
	目的 (どうしたいか)		羽曳野市の公式子育て応援サイトとして、子育てに関する情報を発信することで、地域の子育てを支援する。					
	手段 (事業内容)		こども課、市立子育て支援センター、健康増進課が、それぞれのページを運用し、子育てに関する情報を提供している。こども課では台風などによる保育園の休園情報など、子育て支援センターは日々の事業の様子などをすばやく提供している。					

予算・決算額		(単位:千円)			※主な内訳(令和3年度決算)※
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	【事業費】 保守委託料:612千円 【特定財源】
当初予算額	事業費	612	612	612	
決算額	事業費	612	612	—	
	特定財源等	0	0	—	

活動指標	(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)		
指標名	3月31日現在の登録者数	単位	人
指標の説明	メール配信登録者数		
	令和2年度	令和3年度	令和4年度
目標(見込)	1,800	1,900	2,000
実績	1,743	1,997	－

成果指標	(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		
指標名	サイト閲覧回数	単位	回
指標の説明	サイト閲覧回数		
	令和2年度	令和3年度	令和4年度
目標(見込)	100,000	101,000	180,000
実績	100,388	178,614	－

個別評価			
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	妥当である。	C
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	見直す必要がある。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響がある。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	一定の成果は上がっているが向上余地がある。	B
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合について検討の余地がある。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担を求める性質のものではない。	

総合評価	改善して継続
(担当部局による総合評価の理由や課題) 紙による情報ツールより、手元のスマートフォンで情報を受け取ることができる本システムは保護者の方にとっても親しみやすく、タイムリーに情報発信できる。 しかし、情報収集方法の変化が見られるため、今後、媒体の変更を視野に入れる必要があると考える。	

今後の改善内容
(令和4年度以後の事業実施への改善内容) 現在の情報収集においては、インターネットよりSNSを活用することが一般的になってきており、当市においてもFacebookやLINEによる情報発信を活用しているところ。情報発信ツールをLINEに変更することで、より身近なツールとして活用できるため、利用者・閲覧者の増加が見込まれると考える。

令和4年度羽曳野市事務事業評価シート(令和3年度実施事業)

				事務事業コード		413-01-02	
事務事業名		古市複合館管理事務事業		事務の種類		自治事務(任意のもの)	
				連絡先		内線1230	
担当部署名		こども政策課		予算科目	会計	1	一般会計
総合基本計画	施策目標	4	未来に羽ばたく 子ども・若者を育むまち		款	3	民生費
	施策	1	子育て支援		項	2	児童福祉費
	施策の方向	3	地域ぐるみの子育て支援の充実		目	8	子育て支援費
事業の概要	対象 (誰を・何を)	古市複合館(子育て支援センターふるいち、図書館、青少年センター)					
	目的 (どうしたいか)	地域の子育てと青少年活動の拠点とする。					
	手段 (事業内容)	市長及び教育委員会が管理する施設とし、別に条例で定める子育て支援センター、図書館及び青少年センターをあわせて管理する。					

予算・決算額		(単位:千円)			≪主な内訳(令和3年度決算)≫	
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	【事業費】 施設営繕業務:1,292千円 電気料金:1,699千円 【特定財源】	
当初予算額	事業費	3,699	3,848	3,890		
決算額	事業費	3,272	3,483	—		
	特定財源等	0	0	—		

活動指標	(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)		
指標名	施設修繕箇所	単位	箇所
指標の説明	古市複合館施設修繕		
	令和2年度	令和3年度	令和4年度
目標(見込)	5	2	2
実績	1	0	－

成果指標	(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		
指標名	開館日	単位	日
指標の説明	安全に開館できた日数		
	令和2年度	令和3年度	令和4年度
目標(見込)	359	359	359
実績	359	359	－

個別評価			
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	市が実施すべき義務的事業である。	A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。	A
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	大きく貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	適正な受益者負担である。	

総合評価	現状維持	今後の改善内容
(担当部局による総合評価の理由や課題) 老朽化する施設の管理が今後の課題である。		(令和4年度以後の事業実施への改善内容)

令和4年度羽曳野市事務事業評価シート(令和3年度実施事業)

				事務事業コード		432-01-02			
事務事業名		児童養護施設退所児童進学応援奨学金事務事業		事務の種類		自治事務(任意のもの)			
				連絡先		内線1220			
担当部署名		こども政策課		予算科目	会計	1	一般会計		
総合基本計画	施策目標		4		未来に羽ばたく 子ども・若者を育むまち		款	3	民生費
	施策		3		子ども・若者育成支援		項	2	児童福祉費
	施策の方向		2		困難を有する子ども・若者の支援		目	1	児童福祉総務費
事業の概要	対象 (誰を・何を)		児童養護施設退所児童						
	目的 (どうしたいか)		児童養護施設退所児童の進学に係る奨学金を支給することにより、修学意欲の向上を図り、社会的自立を支援する。						
	手段 (事業内容)		市内の各児童養護施設から各年度ごとに各1名を選考して、大学等の修業年限を限度として返済義務のない奨学金月額5万円を支給する。						

予算・決算額		(単位:千円)			≪主な内訳(令和3年度決算)≫	
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	【事業費】 対象児童の進学に係る奨学金を支給 ・令和2年度決定者 4名 2,400千円 ・令和3年度決定者 4名 2,400千円 【特定財源】 ダルビッシュ有子ども福祉基金繰入金 2,400千円	
当初予算額	事業費	1,800	2,400	1,200		
	事業費	2,400	2,400	—		
	特定財源等	2,400	2,400	—		

活動指標	(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)		
指標名	児童養護施設退所児童の進学人数	単位	人
指標の説明	児童養護施設退所児童の大学等への進学者数		
	令和2年度	令和3年度	令和4年度
目標(見込)	7	4	2
実績	5	4	－

成果指標	(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		
指標名	進学者への奨学金支給金額	単位	千円
指標の説明	児童養護施設退所児童の進学者への奨学金支給金額		
	令和2年度	令和3年度	令和4年度
目標(見込)	2,400	2,400	1,200
実績	2,400	2,400	－

個別評価			
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	市が実施すべき義務的事業である。	
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。	
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担を求める性質のものではない。	

総合評価	現状維持	今後の改善内容
(担当部局による総合評価の理由や課題) ダルビッシュ有子ども福祉基金を有効に活用し、児童養護施設退所児童に対し奨学金支給を行った。		(令和4年度以後の事業実施への改善内容)